

#### 4. X線撮影取扱いへの対応



## 4. X線撮影取扱いへの対応

### <到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従える
- ・ ステップごとに報告できる
- ・ 患者にこれから行うこと（エックス線撮影）の説明ができる
- ・ エックス線撮影に必要な器材の準備ができる
- ・ エックス線防護対策が取れる
- ・ 患者の頭部を適切な位置に固定する事ができる
- ・ エックス線フィルムを適切に位置付けられる
- ・ コーンを適切な位置に移動できる
- ・ 部位に合わせた照射時間を設定できる
- ・ フィルムの現像が行える
- ・ 後片付けができる

### <設定場面>

患者は左下奥歯の痛みを訴え精査加療を希望し来院した。冷たいものがしみるとのこと。診断のために左下大臼歯部のデンタルエックス線撮影をすることとなった。

### <診療手順>

#### 1. 患者の撮影室への誘導

歯科医師：衛生士・助手にエックス線撮影をする旨を伝え、患者の誘導および撮影の準備を指示する。

助手：患者にエックス線撮影をする旨を伝える。

撮影室の照明を点灯し、撮影装置の電源を入れる。

患者を撮影室へ誘導する。

患者：エックス線被爆について質問する。

衛生士：デンタルエックス線撮影での被爆量、影響などについて説明する。

#### 2. 前準備と患者の頭部固定 必要器材：エックス線防護エプロン

助手：エックス線防護エプロンを患者に着用させ、按頭台を調節して患者の頭部を固定する。

有床義歯・眼鏡・イヤリング・ピアスなどは外してもらい、預かる。

患者：防護エプロンの効果と金属をはずす意味について質問する。

衛生士：患者の質問に答える。

開口時の咬合平面が床に水平になるようにする（口角と耳珠を結ぶ線を水平にして頭部を固定する。

3. フィルムの挿入と撮影 必要器材：エックス線フィルム

助手：指示されたフィルムを格納箱から取り出し、裏表を確認して手渡す。

衛生士：フィルムマークを歯冠側にして撮影部位に当て、患者の指を誘導して固定してもらう。

患者：フィルムを自分の指で固定する。

衛生士：コーンをおおよその位置に移動させ、制御盤の照射時間を合わせておく。

歯科医師：コーンを適正な位置に固定し、改めてフィルムの位置を確認した後、「動かないでください」と説明して撮影室から出て、直ちに照射ボタンを押す。

4. フィルムの取り出しと後始末

衛生士：患者の口腔内からフィルムを取り出す。

患者の防護エプロンを外し撮影室から退出して、デンタルチェアに戻るよう説明する。

助手：患者をデンタルチェアに誘導する。

患者：デンタルチェアに移動する。

衛生士：フィルムを現像する。

助手：使用器材の後片付けをする。

#### 4. X線撮影取扱いへの対応

必要器材

- ①エックス線防護エプロン
- ②エックス線フィルム

#### 4. X線撮影取扱いへの対応

